

1. 教育計画

在宅看護論

分野	統合分野 在宅看護論	科目名	在宅看護総合学習
単位・時間	1 単位・15 時間	対象学年	3 年生
方法	講義、演習、グループワーク	時期	前期
講師名 (担当授業時間数)	専任教員 平田 あかり (12 時間) 法人講師 戸崎 亜紀子 (2 時間)		
講師の実務経験	平田：看護師として星総合病院に10年3ヵ月		
学習目標	在宅看護活動における具体的援助方法を身に付ける		
成績評価方法	筆記試験		
使用テキスト	メディカ出版：ナースング・グラフィカ 21 在宅看護論 地域療養を支えるケア 医学書院：系統看護学講座 統合分野 在宅看護論		
参考文献	メディックメディア：公衆衛生が見える		
履修上の留意	在宅看護概論、在宅看護活動論 I・II で学んだ訪問看護サービス、介護保険で活用できるサービス等を復習して臨んで下さい。 この講義での学びは、実習のナビゲートでもありますので、配布資料などは保管して下さい。		
講師からのメッセージ	これからの看護職は、地域の多様な場で活躍することを求められています。地域で暮らす一人ひとりの物語に寄り添うような素敵な地域・在宅看護を一緒に学びましょう。 暮らしを捉えて看護に活かす方法を身に付け、6 月から始まる在宅看護論実習での充実した学びにつなげましょう。 さらに、在宅看護論領域の国家試験対策も紹介します。		

2. 授業計画

回	時間	主題	授業内容	形態	担当者
1	2	訪問看護の実際	訪問看護の活動の実際	講義	戸崎
2	2	地域における暮らしを支える看護	暮らしを捉えるとは	講義 演習	平田
3	2	看護過程の展開①	暮らしの中の看護の情報とは	講義 演習	平田
4	2	看護過程の展開②	アセスメントの考え方 (暮らしを看護に活かす方法、多職種連携の考え方、暮らしの中のリスクを考える、家族へのかかわり)	講義	平田
5	2	看護過程の展開③	アセスメントの考え方	演習	平田

回	時間	主題	授業内容	形態	担当者
6	2	看護過程の展開④	目標設定の仕方、看護計画の特徴 (看護介入の考え方、ロングタームの考え方、意思決定を支える)	講義 演習	平田
7	2	地域における暮らしを支える看護	在宅看護技術としての接遇・コミュニケーションについて。 まとめ	講義 演習	平田
8	2	評価	筆記試験		平田